

友好都市岳陽^{た よ り}信息

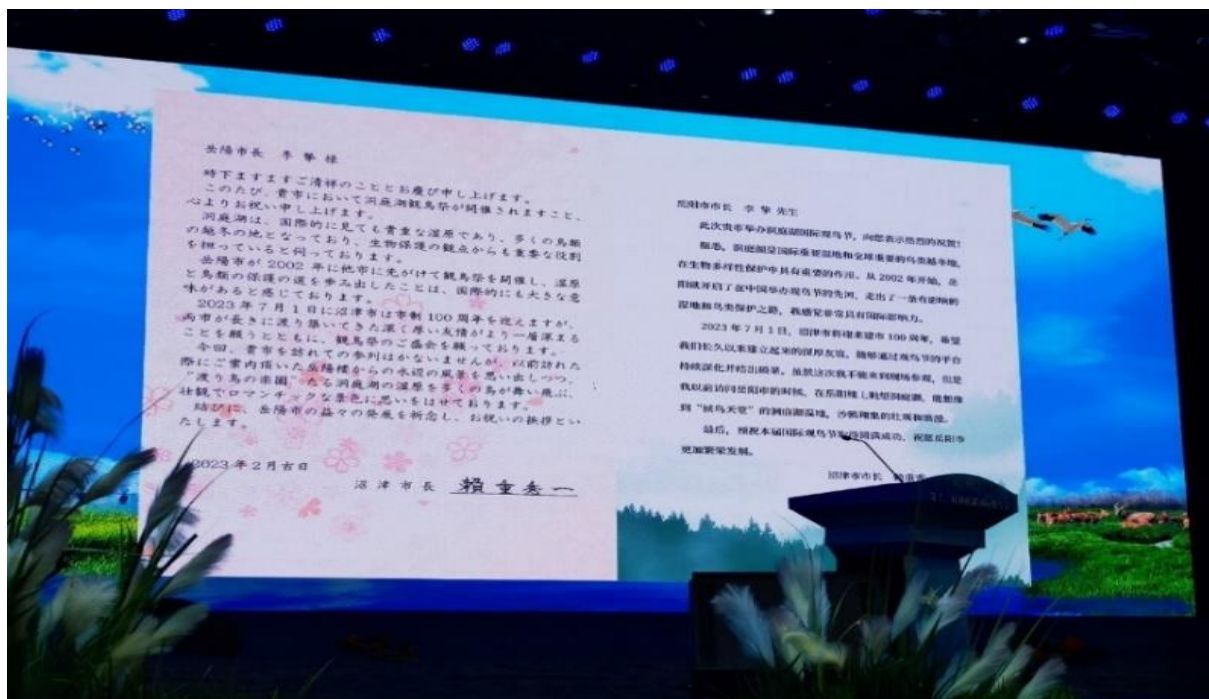


令和 5 年度は沼津市制 100 周年を迎える記念の年であり、沼津・岳陽友好都市 38 周年でもあります。今回は、洞庭湖観鳥祭を沼津市の頼重市長の祝電とともにご紹介します！



第十二回洞庭湖国際観鳥祭が岳陽^{かんちょう}で開幕

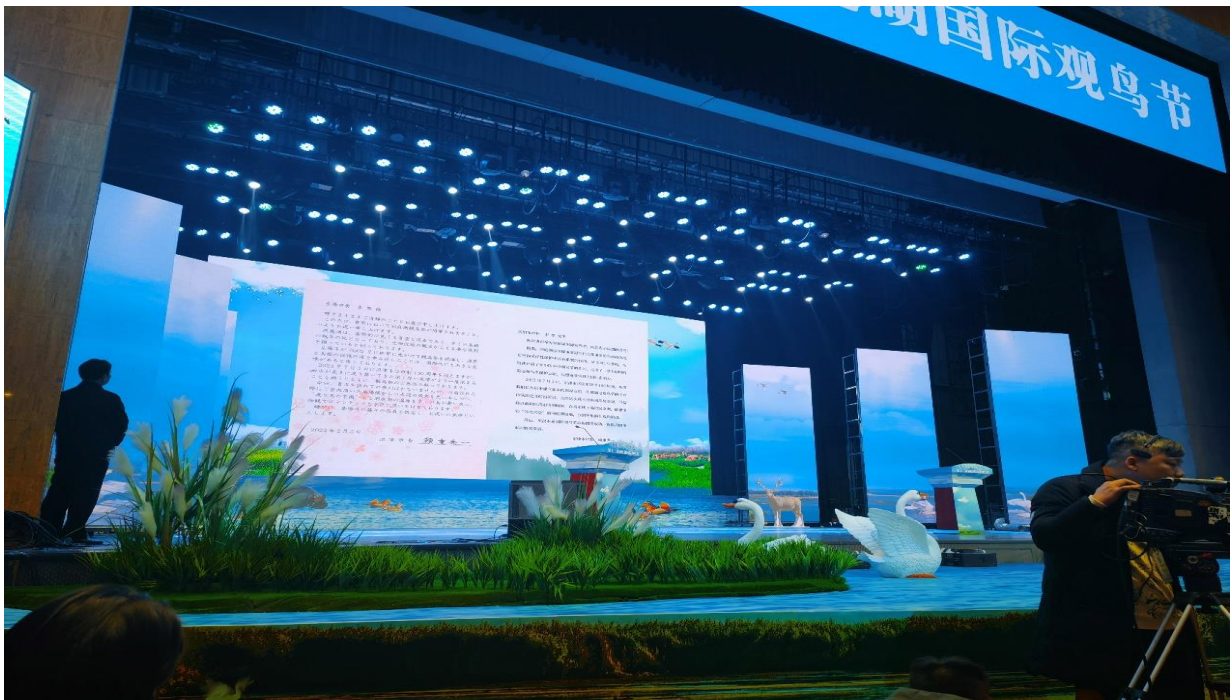
2023 年 2 月 18 日、沼津の友好都市である中国湖南省岳陽市において第十二回洞庭湖観鳥祭（バードウォッチング）が開かれました。



開幕式での沼津市頼重市長の祝電の披露

岳陽市にある多くの鳥たちが集う洞庭湖は、江西省にある中国最大の淡水湖鄱陽湖に次ぐ大きさで、総面積は 2,600 平方キロ（琵琶湖の約 4 倍）以上の広さがあります。地質学者の考証によると、洞庭湖は約 7,000 万年前に形成された湖で、東洞庭湖、南洞庭湖、西洞庭湖、北洞庭湖及び大通湖の 5 つに分けられ、その中では東洞庭湖が最大です。

その^{ひがし}東洞庭湖は中国国家級自然保護区として、北東アジア湿地水鳥の主な^{えつとうち}越冬地であり、国連「国際湿地公約」（ラムサール条約）により指定された重要な湿地の一つです。毎年、コウノトリ、シロヅル、ハクチョウ、クロヅル、シラサギ、マガン、ハイイロチュウヒなど 217 種類の約 30 万羽の渡り鳥が越冬のため、ここに集まってきます。ノガン、ナベヅル、サカツラガン、ソデグロヅル、アカハジロなどの特に希少な鳥類も時々ここに遊び戯れています。東洞庭湖を船で遊覧すると、多種類の淡水魚類が鑑賞でき、新鮮な魚も食べられ、興味深い出漁の物語も聞けるなど、多くの楽しい体験ができます。



岳陽市の第十二回洞庭湖国際観鳥祭の開幕式

洞庭湖では毎年 9 月から翌年 3 月の間がハードウォッチングに最も適した季節で、世界各国から集まった愛鳥家や鳥類専門家でにぎわいます。岳陽市も「中国探鳥の都」と誉められており、毎年盛大な「観鳥祭」を主催しています。

観鳥祭には中国駐在の各国大使や総領事、友好都市代表、滋賀県湖南省駐在代表も参加されたとのことです。また、その^{かんちよう}観鳥祭の開幕式では^{よりしげしゅういち}沼津市の頼重秀一市長の祝電が披露され、後日祭主催者からお礼のご挨拶をいただきました。

2023 年の第十二回洞庭湖国際観鳥祭ではこのような形でお互いの友好を深めました。今後、多くの交流の機会を設け、両市がともに発展していくことを願っております。